

佐藤雅晴 個展「ヒロコの肖像」

会期 | 2014年4月5日(土)～4月27日(日)

時間 | 12:00 ～19:00 (月火祝休)

レセプション | 4月5日(土) 18:00～

協賛 | 株式会社データフォト  
株式会社カシマ

この度、イムラアートギャラリー東京では、佐藤雅晴個展「ヒロコの肖像」を開催いたします。新作の平面作品7点を展示する予定です。

佐藤雅晴は1973年に大分に生まれ、東京芸術大学、同大学院卒業後、2000年に渡独。10年間のドイツ滞在期間中に実写を写しとるという手法によるアニメーション制作を始めます。制作時間の大部分はパソコン上でのトレースに費やされます。佐藤は、当時滞在していたデュッセルドルフの街並や、学校やバイト等で知り 合った知人をビデオカメラで撮影し、パソコン上で「何かを強調することも筆跡等を残すこともしないで、なるべく撮ったものに近づけるようにしています。」 と言うように、終始同じルールと手順でトレースしてゆきます。実写に近づけようとする作業や、そうして出来上がる現実の世界を模倣したかのようなイメージは、言葉や習慣の違い等、自分と社会を隔てる溝の深さを認識しつつ、社会との接点を探り続ける作業やイメージと近いのかもしれませんが。

2010年の帰国後も、対象物から一定の距離を保ちつつも緻密に実写の表面を写しとるという手法によって、知人の子ども、ウサギとクマの着ぐるみ、蒲鉾工場等、様々な動作、風景や光景をモチーフに作品を作り続けています。

本展で発表する平面作品は実写との距離が限りなく近く、一見するとまるで写真展のようです。しかし、これらの作品群が精巧にトレースされたものだとして、そして対象物との間に一定の距離を持ち合わせていることに気づいた時、私たちがものを見る際にそれを所有しようとする視線は見事にはねかえされるのです。混乱状態を積極的に作り出し、鑑賞者自らものごとの本質を再考させるよう促していく作り手の姿勢がうかがえます。今回選んだ「女装した青年の写真」というモチーフがその混乱をより複雑なものにすることは間違いありません。佐藤雅晴の作品をこの機会にぜひご覧ください。



"Portrait No.5"  
2014  
Digital painting  
120x180cm

## □ kyoto

606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町 31  
Tel : 075-761-7372 Fax : 075-761-7362

31 Kawabata Higashimarucho, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8395, Japan  
Tel : +81-75-761-7372 Fax : +81-75-761-7362

info@imuraart.com

## ☒ tokyo

101-0021 東京都千代田区外神田 6-11-14 3331 Arts Chiyoda #206  
Tel : 03-5817-8275 Fax : 03-5817-8276

3331 Arts Chiyoda #206, 6-11-14 Sotokanda, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0021 Japan  
Tel : +81-3-5817-8275 Fax : +81-3-5817-8276

tokyo@imuraart.com

## 佐藤雅晴 個展「ヒロコの肖像」

会期 | 2014年4月5日(土)～4月27日(日)

時間 | 12:00 ～19:00 (月火祝休)

レセプション | 4月5日(土) 18:00～

協賛 | 株式会社データフォト  
株式会社カシマ

## 佐藤雅晴 Masaharu SATO

1973 大分県生まれ

1999 東京芸術大学大学院修士課程修了

2000-2002 国立デュッセルドルフクンストアカデミー ガストシュラーとして在籍

## 主な個展

2009 「signs」GALERIE VOSS (デュッセルドルフ、ドイツ)

2010 「バイバイカモン」イムラアートギャラリー(京都)

「THE SOLO PROJECT BASEL」St Jakobshalle (バーゼル、スイス/Galerie Vossブースより出展)

2011 「取手エレジー Toride Elegy」イムラアートギャラリー(東京)

2012 「ココちゃん Little Girl Coco」イムラアートギャラリー(東京)

2013 「ナイン・ホール 佐藤雅晴展」川崎市市民ミュージアム(神奈川)

「楽園創造-芸術と日常の新地平-展」ギャラリー α M(東京)

## 主なグループ展

2001 「Internationales Boohumer Videofestival #11」/ボッホムビデオフェスティバル(ボッホム、ドイツ)

2004 「Japanimprov #5:The Ramyun Soup Connection」ベルギークンストセントラル(ハッセルト、ベルギー)

「Haunted Folklore」芸術団体リサイクルアート(ブリュッセル、ベルギー)

2006 「Merry go down」NRW州立舞踏劇場(デュッセルドルフ、ドイツ)

2008 「NHK BS2デジタルスタジオ」(東京)

2009 「第12回岡本太郎現代芸術賞展」川崎市岡本太郎美術館(神奈川)

「NHK BS2デジタルスタジオ」(東京)

「City\_net Asia 2009」ソウル市立美術館(ソウル、韓国)

2010 「DANDANS at No Mans Land」フランス大使館旧事務所棟(東京)

「Morality」フィルムプログラム Witte de With Center for Contemporary Art(ロッテルダム、オランダ)

「六本木アートナイト 六本木ヒルズプログラム」ビデオアート上映「六本木ヒルズ」(東京)

「D調」関渡美術館(台北、台湾)

2011 「JAPANCONGO」Le Magasin -National Centre for Contemporary(ゲルノーブル、フランス)、

Garage Center of Contemporary Culture(モスクワ、ロシア)

「from a distance, keep a distance」The Sungkok Art Museum(ソウル、韓国)

「Hierher Dorthin -こちらへ、あちらへ」ドイツ文化会館(東京)

2012 「紙非紙」中央美術学院美術館(北京、中国)

「2:46 and thereafter」Edison Place Gallery (ワシントン、アメリカ)

「第15回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展」国立新美術館ほか(東京)

「Photo-Reference: Photographic Image in Contemporary Japanese Art Practices」Cultural Centre of Belgrade

(ベオグラード、セルビア)

「京芸Transmit Program #3 Mètis -戦う美術-」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA1,2 (京都)

「ジパング展・沸騰する日本の現代アート」新潟万代島美術館(新潟)

「Private Woodland」Gallery Skape (韓国/ソウル)

2013 「ジパング展 -沸騰する日本の現代アート」高崎市美術館(群馬)、八戸市美術館(青森)、秋田県立近代美術館(秋田)

2014 「日常／オフレコ」KAAT神奈川芸術劇場(神奈川)

## 受賞

2009 「第12回岡本太郎現代芸術賞」特別賞受賞

2011 「第15回文化庁メディア芸術祭」審査委員会推薦(アート部門)

## □ kyoto

606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入丸太町 31

Tel : 075-761-7372 Fax : 075-761-7362

31 Kawabata Higashimuratacho, Sakyo-ku, Kyoto, 606-8395, Japan

Tel : +81-75-761-7372 Fax : +81-75-761-7362

info@imuraart.com

## ☑ tokyo

101-0021 東京都千代田区外神田 6-11-14 3331 Arts Chiyoda #206

Tel : 03-5817-8275 Fax : 03-5817-8276

3331 Arts Chiyoda #206, 6-11-14 Sotokanda, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0021 Japan

Tel : +81-3-5817-8275 Fax : +81-3-5817-8276

tokyo@imuraart.com